

政務活動に係る活動報告書

会 派 名	無会派（守岡等）
活 動 項 目	先進地視察
年 月 日	令和元年11月12日
参 加 者 名	守岡等
視 察（研修）地	大分県豊後大野市
目 的	農業就業人口低下に対する対応策を学ぶこと。
調査(研修)項目等	<p>「インキュベーションファーム」について</p> <p>①開設までの経過</p> <p>②運営の実際</p> <p>③利用者数と新規就農者数の推移</p> <p>④市としての新規就農者への支援策</p>
概 要	<p>豊後大野市では、高齢化に伴う今後の農業就業人口の低下に対応するため、平成23年度よりインキュベーションファーム事業に取り組んでいます。インキュベーションという言葉は卵の孵卵器（ふらんき）インキュベーターに由来し、まったくの素人を2年間の研修で農業者へ孵化させようという意味を込めたものです。</p> <p>事業の概要は、まず月額12,500円の宿泊施設を用意します。生活の保障として研修中の2年間および就農後5年間の計7年間毎年最高で150万円の給付を受けることができます。また2年目以降は収穫物も研修生の収入となり、生活を支えています。こうした生活保障にもとづいて、農業技術、農業簿記、農業機械など様々な研修カリキュラムにもとづいて研修が行われ、2年後に市内で就農を開始する場合には、それぞれに見合った家と農地を市で斡旋するという制度です。</p>

	<p>現在、6期生まで16組の方たちが研修を終え、すでに就農していますが、脱落者はゼロで、ピーマンを中心に安定した農業経営を確立し農業所得400万円という目標はほとんどの方がクリアしているようでした。</p> <p>実際に研修を行っているご夫婦の話も聞くことができましたが、都会から農業知識ゼロの状態に移住してきた方が立派なピーマンを栽培しており、山のようにおみやげをいただけてきました。</p>
<p>所 感</p>	<p>このインキュベーションファーム事業は、農業就業人口の維持を図る点で、また減少する農業生産額に歯止めをかける点で非常に有効であり、本市でもその実施を検討すべき内容であると強く感じました。</p>